

R-18
FOR ADULT ONLY



お姉ちゃんの友達は
新田美波



お姉ちゃん
の友達
は
新田美波

両親が旅行で不在のある日――

お姉ちゃんの友達でアイドルの新田美波さんが泊まりにきた

「わーっ♡
弟くんカワイイ♡」

(目の前に本物の新田美波が…)

「新田美波です♡
よろしくね♡」

「えっと…
あの、新田さん…」

「美波って呼んで♡」

「み、美波さん
よろしくお願ひします」

「お姉ちゃん♡」

「…
すっごくいい匂いがした」

「近くで見る憧れの新田美波さんは美人で――」

「すっごくいい匂いがした」



その日の夜
美波さんがお風呂に入ってる時――

美波さんのことが頭から離れなくて
悪いことだと分かっているでも脱衣所に忍び込んでしまった

(これがさつきまで美波さんが履いていたパンツ…)

(すぐに返せばバレないよね…)

美波さんのパンツを目の前にして我慢できず
そっと自分の部屋に持ち帰った――



(美波さんのパンツ…)

(まだ温かくて少し湿ってる…)

(それに)

(なんだかいやらしい匂いがして
いつもよりおちんちんが大きくなって…)

『はあ…はあ…』

(パンツでおちんちん擦るとすごく気持ちいい…)

『あっ！ あっ！』

(出ちゃう…っ！)

(こんなにいっぱい出たの初めて…
すごく気持ちよかった…)

(バレないように早く戻さなきゃ…)



夜、美波さんが部屋に遊びにきたー

『あの…お姉ちゃんは？』

『疲れてたみたいでもう寝ちゃった』

『お姉ちゃんに聞いたんだけど
弟くんって私のファンなんだって？』

『えのどその…はち』

『ふふっ…弟くんっておませさんなんだね♡』

『だから私のパンツでオナニーしちゃったのかな？』

『え…なんのこと』





(泣き顔カワイイ♡♡
イジメだくなっちゃっ♡)

『ごめんなさい、僕!』

「人の物を勝手に持ち出すのは泥棒だよ!」



『女の子って匂いに敏感なんだよ!』

「パンツから精液の匂いがしてだし、この部屋もエッチな匂いしてるよ!」



「なにがごめんなさいなのかな?」

『美波さんのパンツ盗んでオサニしてごめんなさい...』

『うんうん♡
ちゃんと謝って正しいね♡』

『このことお姉ちゃんには内緒!』

「弟くんがちゃんと反省してるならお姉ちゃんには黙っていてあげようかな」

『反省してます。だから』

『そう言う割には足にあたって硬いモノはなにかない?』

『これは体が勝手に...』

「黙っていてあげてもいいけど、悪い子にはちゃんとお仕置きしないかね!」

『あの…僕…』

「手をどけなきゃお仕置きにならないでしょ♥」

(子供だと思ってたけど立派なちんちんしてる…♥)

「弟くんのおちんちんすく大きくなってるね
それに熱くてとても硬い…♥」

「見られてるのにペンペンにさせるなんて変態さんだね♥」

『美波さん触られたら…あつ♥』

『あつ♥あつ♥』

「ふふ♥ 撫でただけなのに
敏感なおちんちんだね♥」





「お仕置きなんだから
良いって言うまで我慢しなきゃダメでしょ」

「ごめんなさい……」

「あゝあ、出ちゃった♡」



「そんな…気持ちよすぎて
もう…出ちゃっっ！」



（夫人と比べて弟くんの精液は
すこく青臭くて濃厚な香り…興奮してきちゃった♡）

「まだまだ反省が足りてない
みたいだからお仕置き続行ね♡」

「んっ♡んっ♡
すちゅ♡じゅっ♡んっ♡んっ♡」

「お尻の穴イジラれながら
シ「シ」されると気持ちいいでしょっ」

「ずちゅちゅちゅっ♡」

『あっ♡あっ♡
んひゃあっ♡』

「ちっけりもおちんちん熱くて
ビクビクしてる♡」

『美波さんこれ以上は…
僕頭おかしくなっちゃうよ…っ』

「お尻の穴をビクビクしておまんこみたい♡」

(弟くんのよがってる顔
見てるとソクソクしちゃっ♡
小さい子を犯してるみたいで楽しい♡)

「お尻の穴を指ちんちんで
犯されて気持ちいい?」

『気持ちいれすう…あっ♡
ああああ♡』

「ふふ♡ お尻の穴が指をきゅーって締め付けて
おちんちん苦しそうにビクビクしてる♡」

『なんかすごいのきちやう…♡』

「今度は我慢しないで
思う存分イッていいよ♡」

『美波さんっ…
美波さん僕もう…っ♡』

「きやっ♡」

『んあっ…
はあああああっ♡』

『すっごい♡
潮吹きなんて初めて♡♡♡』

『んはああ♡
はあ♡ はあ♡』



『はあ…はあ…
美波さん…』

『ちやうど弟くんには刺激が強すぎたね。』

『あれ？ 弟くんのおちんちん
また大きくなってるよ？』

ムクムク…

『あん♥ もう弟くんたら
甘えん坊さんなんだから♥』

『美波さん…美波さん…♥』

『はいいめんなさい…っ』

『ぷぷ♥ 女の子みたいな可愛い顔して
おちんちんは凶暴さんなんだね♥』

んーやう



ぬきぬき

ぬきぬき

ぬきぬき

「ちょっと待ってね」

「み、美波さん……？」

すす

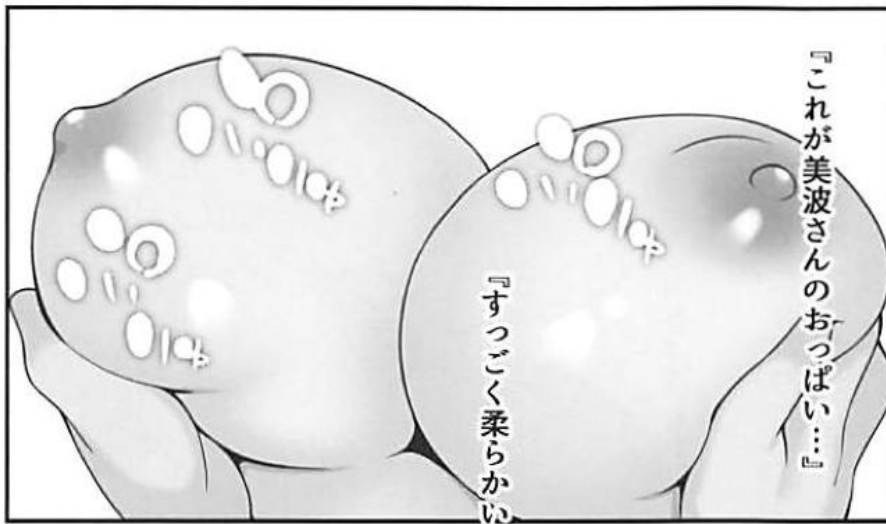
びるんっ

「まったくも……
しょうがないんだから♥」

「おっすーん♥」

むにゅんっ

「やりすぎちゃったお詫びに
好きに体を触っていいよ♥」



「ふふ…男の子って本当に
おっぱい好きなんだね♡」

『はあ…はあ…♡』

「おっぱいもいじけたいよさも思っ♡」

「おまんこが「くく」してるとお
女の子が男の子のおちんちん
欲しくなってる証拠なんだよ♡」

「弟くんのおちんちん入れてほしいな♡」

くぱああ♡

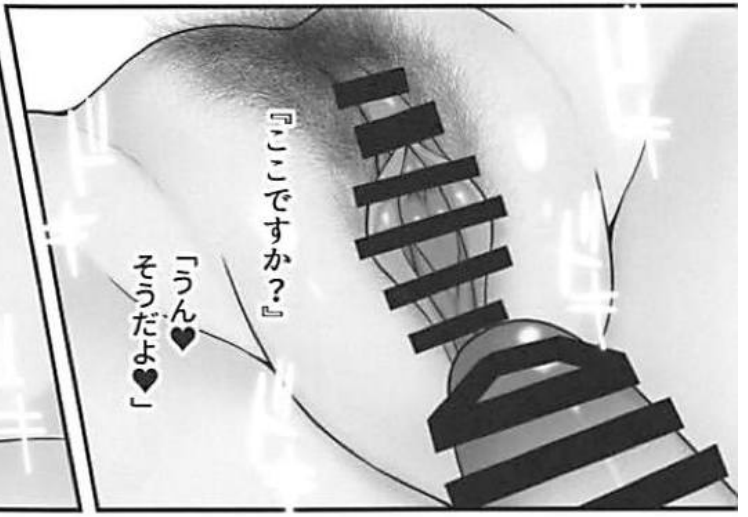
ひんひん





「弟くんのおちんちんきたあ♡」

「い、入れます…っ」



「…ですか？」

「うん♡
そっだよ♡」



「♡♡♡
私も弟くんの熱くて硬いおちんちんを
おまんこで感じてますよ♡」

『すごく気持ちいいです…
熱くてちんちんとろけちゃいそう…』



「初めてのおまんこに入れた気分はどう？」



「なまなれすよ…
こんな気持ちのSEX初めだよ♡」

「せつと気持ちいいの♡
弟くんの好きなおまんこで動いてる♡♡」

「美波さんっ…
美波さんっ…
はぁ♡ はぁ♡」

「ああん♡
あっ♡ あっ♡」

「弟くんったら動物みたい!
一生懸命腰振っちゃって可愛い♡」

(でもこういう風に乱暴に
突かれるのも気持ちいいかも♡♡♡)

「おまんこ気持ちいい…♡♡♡」

「あん♡ はぁあ♡
私も気持ちいいよ♡
もっと激しく突いてえ♡」

「あっ♡ あっ♡
美波さんもう出ちゃいます…っ」

「はっ♡ はっ♡ はっ♡
っっっっっ…我慢っっっっっ…」

「めんなさっ…もうっ…っ」



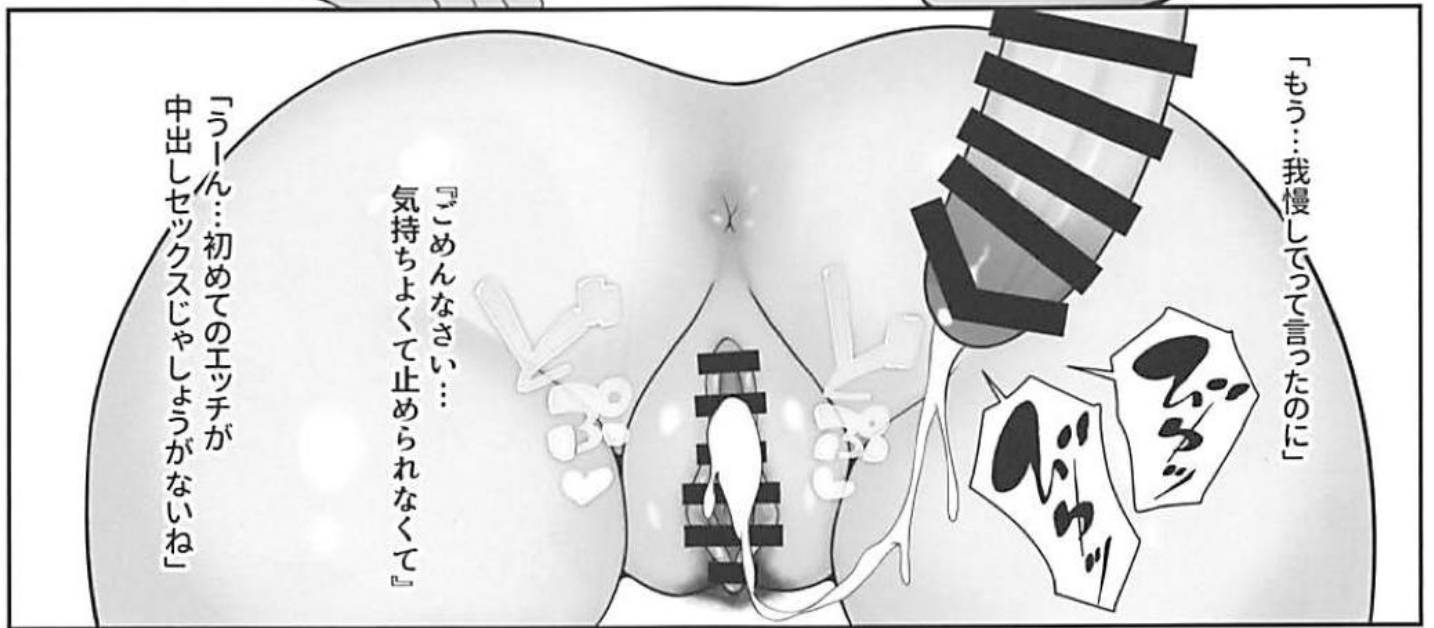
『あっ♡ あっ♡
…っはあああ♡』

『出るッ…出ちゃうッ!』

『あっ♡ あん♡ んくう♡』

『はあああああ♡
はあ…はあ…♡』

(おまんこの中に大量の精液
流し込まれちゃった…♡)



『もう…我慢してって言っただの!』

『ごめんなさい…
気持ちよくて止められなくて』

『うーん…初めてのエッチが
中出しセックスじゃしょうがないね』



『それじゃもう一回ヤさうか♡』

『美波さんこれ以上はもう…』

『ダメ♡
女の子をちゃんと気持ちよくするのも
男の子の役目だよ♡』

『はあ♥ はあ♥
おまんこでおちんちん潰れちゃうっ!』

おまんこ
おまんこ
おまんこ
おまんこ
おまんこ

『んはあああ〜♥
弟くんのおちんちん
す〜く気持ちいい♥♥♥』

『僕も気持ちよすぎて…
もう出ちゃいますわ…』

『おまんこ♥
おまんこに弟くんの精液いっぱい出して♥』

あゝ
おまんこ
おまんこ
おまんこ

『あっ♥ あっ♥ あああ
精液出るうっ!』

『私モイクウ♥
弟くんの子供おちんちんで
イッちゃう〜♥♥♥』

んはあああ〜
おまんこ
おまんこ
おまんこ
おまんこ
おまんこ
おまんこ

イクウ
イクウ
イクウ
イクウ
イクウ



こんにちは。柊はじめです。
お手にとっていただきありがとうございます。
この本はC93で出す予定だった美波のおねショタ本になります。
次はC94(夏コミ)にサークル参加します。
新刊は美波本とシャニマスの白瀬咲耶の本が出せたらと思っています。
pixivやtwitterもよければ覗いてやってください。
また是非どこかで新刊を手にとって頂けると嬉しいです。

【誌名】お姉ちゃんの友達は新田美波
【著者】柊はじめ
【発行元】Re:Cre@tors
【発行日】2018年6月17日
【連絡先】recreators1990@gmail.com
【印刷所】サンライズ
pixiv FACTORY BOOKS



お姉ちゃんの友達
は
新田美波